

平成16年度 福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第3回）  
（議事録）

1 日 時 平成17年1月20日（木）15：30～16：20

2 場 所 福岡国際会議場4階 401会議室  
福岡市博多区石城町2-1

3 出席者

(1) 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	戸田 和彦
国土交通省大阪航空局飛行場部長	松本 清次
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
福岡市総務企画局理事	田代 政範

(2) 本省航空局からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課空港計画企画官 村山 伊知郎

4 議事

(1) 開会

事務局

ただいまから福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第3回）を開催いたします。

本日のご出席でございますが、幹事の方4名と国土交通省計画課から村山企画官にお願いしております。

なお、今月に異動がございまして、福岡市の田代理事が新たに幹事として就任いただいておりますので、ご紹介申し上げます。

田代理事

福岡市総務局の田代と申します。1月14日付けの異動でこちらに参りました。今までは海、港の関係を担当しておりまして、今回は空港ということで若干なりとも関係があるということで嬉しく思っております。

皆様方にはいろいろとご指導とご迷惑を年度途中ということでおかけすると思っておりますけれども、福岡空港の総合的な調査が円滑に進むということに大いに期待しておりますし、1日も早くその機能の拡大をするようにということで念じております。皆様のご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

事務局

マスコミの方へお願いでございますが、カメラの撮影は冒頭の事務局説明までとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは議事の進行を戸田部長にお願いいたします。

(2) 議事

## 「福岡空港調査 P I 実施計画(ステップ 1)成案」について

戸田部長

それでは会議を始めたいと思います。今日はお忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

今日の会議につきましては、昨年 11 月 4 日に行いました連絡調整会議で福岡空港調査 P I 実施計画(ステップ 1)の素案承認を受け、これについて意見募集をいたしました。その結果を踏まえて、今日、一部修正を加えたものを議論して、それを成案として決定するかどうかということをご協議するものでございます。具体的には後ほどご説明いただきますが、募集していただいたご意見と、この連絡調整会議、幹事会も含めて、考え方等を議論して、それを踏まえて実施計画を成案とするかどうかということでございます。

早速でございますが、資料のご説明を県のほうからよろしくお願いいたします。

西村理事

福岡県でございます。よろしく申し上げます。今、部長からお話がありましたけれども、前回 11 月に連絡調整会議の本会議を開催して、メンバーの方々に素案の確定をしていただきました。その素案について意見募集をして、その結果のご説明と、それに基づきます修正についての説明をさせていただきます。

お手元に資料がございますので、確認させていただきます。まず一番上に配付資料一覧というのがございます。それから議事次第、配席図、出席者名簿、その下に右肩に審議事項と表示された 1 枚ものがございます。それから資料 1、その別添 1、それから A4 の横長の資料で意見を全部網羅しております別添 2、それから<参考>という資料。それから右肩に資料 2 と書いたものがございますが、これは福岡空港調査 P I 実施計画(ステップ 1)の案そのものでございます。それから連絡会議ニュースを第 1 号、第 2 号をお手元に用意させていただいております。資料 1、資料 2 について、これから時間をかけてご説明させていただきますと思います。

### 【審議事項 福岡空港調査 P I 実施計画(ステップ 1)について】

まず審議事項という内容のペーパーです。本日議論して確定していただきたいのは、前回に素案として出したものを意見照会しまして、それに基づきまして案を修正しております。それを成案として決定していただきたいということと、その案について昨年暮れに設立されました第三者機関と呼んでおります福岡空港調査 P I 有識者委員会の方々の評価を受けるために、そちらに送付してご議論をいただくという手続きについて、よろしいかどうかを今回まとめてご審議いただきたいと思います。

今回の実施計画がどういう流れで今日まで来ているかということをご説明したいと思います。資料 2 の 11 ページをご覧くださいと思います。

P I につきましては、第 1 ステップ、第 2 ステップ、第 3 ステップ、第 4 ステップと 4 つのステップに分けて、それぞれ内容について情報公開をして意見収集するというようにしておりますが、今回策定しますのは第 1 ステップの実施計画でございます。

実施計画を作るにあたって、11 ページ下の部分の流れで今まで手続きを進めてきたわけ

でございます。一番はじめのところが、まず原案を作る前にP Iに関するアンケートを9月から10月にかけて実施いたしました。これはどういう情報提供の仕方がいいのか、どういう手法で意見を出したらいいかといったこと、そういう基本的なことを得るためにアンケートを実施したものでございます。本日の資料に参考資料ということで内容を付けておりますので本日ご説明はいたしません、参考資料「アンケート結果について」というものを後ほどご覧いただきたいと思っております。それを9月から10月にかけて行いました。

それに基づきまして、11月に第1回目のP I実施計画ステップ1(素案)の作成ということで、連絡調整会議の本会議を開催いたしまして確定していただいております。その素案を公表いたしまして、それに基づいて意見募集をいたしました。本日結果をご説明いたします11月から12月にかけて行った意見募集でございます。

そしてそれに基づきまして、本日提出しております内容を変更した実施計画案がございます。本日の会議がその下の連絡調整会議、幹事会ということにさせていただいておりますが、取りまとめをして決定する。そこで成案を得まして、第三者機関であります福岡空港調査P I有識者委員会に送付しまして、評価ですとか助言をいただく。そして最終的に確定をしていきたいと思っております。

現在は、連絡調整会議の「取りまとめ、決定」のところでございます。そういう経過で、今回は成案についてのご審議をいただくということでございます。

#### 【資料1 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案に対するご意見と当会議の考え方について】

続きまして資料1でございますけれども、ここに書いてございますのは意見募集しました結果の内容であり、今回、それに基づいて実施計画の中身を変更した箇所についての記述でございます。

アンケートは11月11日~12月10日まで行いまして、その結果125名の方から233件のご意見を頂戴しております。

内容につきましては次のページ、別添1、さらに詳しく別添2とございますので、まず意見の内容について概要を説明した上で修正箇所についての説明をしたいと思います。

別添1をご覧いただきたいと思っております。これがいただいたご意見の概要でございます、主な意見と件数、それから項目別に分けたグラフを下に載せております。上の一覧表の枠の中をご覧ください。実施期間は11月~12月にかけて、配布方法については空港や駅での配布ですとか市町村に配布してお願いする、あるいはホームページで募集したりすることで、だいたい全部で4400部くらいの意見募集のための配布をしております。回収につきましては郵送、ファックス、電子メール等で行いましたが、ほとんど郵送でいただいているという状況でございます。回収数は125、意見としては233件でございます。

内容の主なものでございますけれども、全体に大きく2つのカテゴリーに分けられました。今回、意見を募集しました実施計画の素案についてのご意見が115件ございました。それ以外で福岡空港の総合的調査に関するご意見が118件ございます。

実施計画の素案についての内容としましては、そこに主なご意見ということで書いてある通りでございます。多い順で申しますと、最も多かったのは「素案の内容を評価する」

というご意見が 27 件ございました。それから真ん中のあたりに「多くの方が参加できるように様々な手法を実施すべき、特にマスコミ等のメディアを活用すべき」というご意見が 14 件、「内容をわかりやすく適切な方法で提供すべき」というのが 10 件、「P I の手法については空港利用者の意見も重視すべきである。逆に利用者でない方の意見も幅広く聞くべき」というご意見が 11 件ございました。

下の方にはグラフ、実施計画のご意見について、全体的にどのような種類のものかということ項目別に分け、「実施計画全般について」が一番多く 37%のご意見でございました。それ以外は「時期とか期間」、あるいは「情報内容」、「手法」といったものに分けられています。

ただ今ご覧いただきましたのが概要でございますが、もう少し詳しく示したものが別添 2 でございます。左側に意見の内容、これはすべての意見を整理してカテゴリー別に分けて載せております。それから右側に、そういったご意見に対して我々としてどういう考え方で回答するかということ整理したものでございます。これについてもざっとご説明していきたいと思っております。

まず、実施計画についてのご意見 115 件の中で、計画全般についてのご意見と言えるものだと思いますが、そういったご意見が 43 件ございます。そのうちで一番大きいのが、こういった「実施計画の内容については概ね評価する」というご意見が 27 件ございました。これにつきましては、当然のことながらご期待に応えられるように、実施計画に沿いまして着実に P I を実施していきたいと考えております。

それから次のカテゴリーで真ん中のあたりですけれども、「実施計画の素案自体をもっとわかりやすくすべきではないか」というご意見が 10 件ほどありました。実施計画自体は手続きを中心に含めたものでございますし、基本的な考え方も含んでおりますのでなじみがないのかなという感じで、そういった意見をお寄せいただいたのではないかと思います。

今回、そういったご意見を受けまして、全体の構成を少し変えさせていただいております。実施計画そのものを全面的に出す形に修正しておりますし、細かいところでは表現方法などもできるだけわかりやすいように工夫しております。また、実際の計画を確定した段階ではわかりやすいリーフレットを作成していきたいと思っておりますので、こういったご意見を活かしながら、よりわかりやすい内容にしていきたいと思っております。

その下が、「P I 自体に疑いがある」というご意見が 3 件ございます。その下に「用語がわかりにくい」ということがございまして、なるべく日本語の表記を使うようにして必要最低限のもの、たとえば P I とは何かというご意見もございますので、できるだけ必要最低限の用語として使っていきたいと思っております。

それから 3 ページをご覧ください。「実施時期および期間に関するご意見」が 6 件ほどございまして、これは「3 カ月では短い」というご意見と、「ステップ 1 も含めてもっと速やかにやるべき」というご意見もございました。時間管理というのは大変大事なことでありますし、逆に丁寧にご説明して情報提供することも大事なことでございますので、こういったご意見も考えながら、無駄に時間を過ごすことがないようにきちんとした対応をしていきたいと思っております。

その下の、「提供する情報内容に関するご意見」が 19 件ございまして、「ステップ 1 の提供する情報について」のご意見というのが 10 件ございました。その内容は具体的には、

「わかりやすい情報を提供していただきたい」ということや、「他の空港とか計画中の情報などもほしい」といったご要望等がございました。

今回、調査内容が固まり次第、PIレポートということで具体的にわかりやすいパンフレットを作成しまして、よりわかりやすく、さらには正確を期するというところで工夫しながら、そういったものを作っていきたいと思っておりますので、そういったご意見にも対応するようにしていきたいと思っております。

4ページはステップ2以降、これは次回以降の話になると思いますが、それぞれ連携策との関係で他の空港の状況はどうかということ、あるいは費用対効果はどうか、環境やエネルギーはどうかといった諸々のご意見も頂戴しております。そのステップの段階になりましたら、ご意見に沿う形で検討していきたいと思っております。

5ページですけれども、ここでは「情報提供や意見の収集の方法、PIの手法について」のご意見を頂戴しております。その中で「手法について」のご意見が14件ございました。いろんな手法を使って実施して下さいというご意見が主としてあったわけですが、特に「テレビなどのマスメディアを活用すべきではないか」といったことや、インフォメーションコーナーなどの話とか様々なご要望がございました。

我々もこれからもできるだけ幅広く、いろんな手法を使って進めていきたいと思っております。今回も説明会でありますとかインフォメーションセンターとか、あるいはマスクミの方々への情報提供といったものも盛り込んでおりますので、その線に沿ってやっていきたいと思っております。

6ページに、「PIの参加者について」のご意見が11件ございます。この中では、「利用者の意見を大事にすべきではないか」「利用者に対する説明会も考えていくべきではないか」といった事、あるいはそれ以外に「利用者以外の方の意見も十分尊重して聞くべきではないか」といったいろいろな意見がございましたので、そういったことも勘案しまして、今回、インフォメーションセンターを空港の中に設けるように検討していこうと実施計画自体にも修正を加えておりまして、そういった意見も反映させる形にしております。

次の7ページでございますけれども、「収集した意見の取り扱いについて」のご意見ということで5件ほどですが、「形ばかりにならないよう誠実に対応すべき」とか「反映の検証が必要だ」、「偏らないこと」などといったご意見をいただいております。基本的に我々はPIでいただいた意見につきましては、対応方針も含めまして公表していくということにしておりますし、有識者委員会でも点検や評価をしていただくことになっておりますので、そういった透明性を確保しながら進めていきたいと思っております。

それから下の方に「PIの終了に関するご意見」が7件ございまして、うち終了の判断については1件ということで、判断指標をどうするのかというご意見がございました。意見の状況とか内容を見ながら終了するかしないかということ判断していきたいということをお考え方として整理しております。

それから次の8ページでは、「福岡空港調査PI有識者委員会に関するご意見」を頂戴しているところでございます。そしてその他もろもろということで10件ほどございます。以上が実施計画についてのご意見でございます。その後は総合的な調査にかかわるものでございますので、説明は省略させていただきます。

資料1に戻っていただきまして、こういった意見をそれぞれ我々としてもカテゴリー別

に分けて整理し、それをどう実施計画に反映していくかということで検討いたしまして、資料1の真ん中から下あたりに書いてございますが、素案の変更箇所としては「実施計画そのものがわかりにくい」というご指摘がございましたので、全体の構成をわかりやすく整理しております。

それから「利用者の意見を十分に聞くような手法にすべきではないか」というご意見がございましたので、インフォメーションコーナーを空港に設けるように実施を検討するとか、説明会の参加に利用者の参加が排除されるような誤解を生むような表現がございましたので、その辺の文言の整理とか表の整理といったものをしております。そういう形で、反映させられるものについてはできるだけ反映した形にしております。

#### 【資料2 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)案】

そういったものをトータルしまして資料2をご覧ください。どのあたりが変わったかというところをご説明したいと思います。前回の素案が資料として無いのでわかりにくいかと思いますが、主たるところをご説明いたします。

まず表紙の部分は副題として「幅広い市民参加に向けて」ということで中身がわかるようにしたのが1点でございます。

2枚めくっていただきまして目次のところですが、ここで構成を変えております。前回は参考1のところ、いわゆるPIのあり方の概要ということをもとに、これは基本理念でありますので、これを書いた上で本題部分の実施計画(ステップ1)を書いていたのですが、今回どういうことが主たるものか、どういう計画で行われるかというのが主たる内容ですので、実施計画(ステップ1)を前面に出して整理をし、PI計画の概要については参考の中に入れております。構成としては大きくこれを変えております。

それから、できるだけわかりやすい用語を使ってくれということで、用語がわからないというご指摘がございましたので、次の1ページにPI、これは頭だけしか出てこないのですが、PIとはということでPIの内容について記述をしております。

それから7ページの横長の表ですが、これが具体的なPIの実施手法で、どういうPI参加者を対象にして、いつごろ実施をどういう段取りでしていくかという内容でございます。ここで特に空港利用者の方々に対しても十分情報提供して意見を聞くべきであるというご意見がございましたので、この表の中でインフォメーションコーナーのところ、福岡県や福岡市の庁舎内に加えて、空港でのインフォメーションコーナーを設置してご覧いただくということで、「空港」というのを加えております。

それから下の説明会の部分、PI参加者の縦の欄ですが、前回は「空港利用者」と一番右の「福岡空港に関心を有する国内外の個人及び団体」というところが「-」になっておりました。決して排除するつもりでは無いのですが、参加の対象にしていないような誤解を生む可能性がございますので、ここできちんと空港利用者に関心を有するの方々について「 」という記述にして、利用者の方々にもぜひ説明会に参加していただくということを考えております。その修正をしております。

あとは実質的な内容の変更ではございませんが、13ページに今回の意見募集の結果について概要を、資料1の中身になりますけれども追加をしております。

それから 14 ページ以降に、先ほど申しあげましたけれども P I 計画の概要ですとか、あるいは第三者機関、有識者委員会が 12 月に設立されましたので、その規約等を追加で載せております。

以上が、意見照会した中身と、それに基づく修正箇所のポイントでございます。

戸田部長

それではただいまご説明いただきました資料につきまして、ご審議を願いたいと思いません。何かありましたらよろしく願いいたします。

村山企画官

感想みたいなことになってしまうかもしれませんが、私も実は昨年 10 月 15 日付で今のポストに参りまして、ちょうど時期が素案に対するアンケートの直前だったものですから事前に素案の中身を拝見したのですけれども、市民の方からもわかりにくいのではないかとご指摘がいくつかあったようでございますけれども、私も正直に言ってわかりにくいと言いますか、いろんなことが正確に細かく、かつ丁寧に書いてあったものですから、逆にいろんな情報がありすぎてどこがポイントなのかがわかりにくいかなという思いを持った記憶があります。

調査の中身としては、これからいよいよ本格化していくという段階だと思いますけれども、わかりやすいという趣旨で、ある程度メリハリをつけた資料の作成の仕方といいますか、何がポイントなのか、どこを重点的に意見をもらいたいのかというあたりがわかるような資料づくりをこれからも心がけていく必要があるのではないかと思います。

ただ、一方であまりメリハリをつけると、意見を誘導しているのではないかとご指摘を受ける恐れもありますので、そのさじ加減が難しいところもあるかと思いますけれども、事務局でどんな意見の出し方がいいのかというのはいろんな事例とかを勉強していただいて、よりわかりやすいものになるように、この意見の中でも書いてありますけれども、さらに尽力いただけるとありがたいと思います。

戸田部長

今のご意見は承っておくということによろしいでしょうか。特段の訴えがあるというわけではないですね。

西村理事

今回は中身というより実施計画なので、手続きの関係が主として出てくるものですから、今までそういう情報を得ていない方にとっては最初はどうしても、何だろうなということから始まって、用語も含めてそういう印象だったと思います。そういう意見もたくさんいただいておりますので、これからはそういうところに気をつけてやっていきたいと思いません。これから特に調査を来年度実施する場合には、調査の中身をいかにわかりやすくしていくかということがポイントになると思いますので、その辺を考慮してやりたいと思いません。

村山企画官

もう1点、別添2の中での確認ですけれども、8ページのところで第三者機関、P Iの有識者委員会についてのご意見の中で、市民の代表も入れるべきではないかというご意見を何名かの方からいただいております。それに対して専門性のある委員にお願いしているということなんですけれども、それを補足と言いますか、私なりにこういう考え方で良いのかと思うのですけれども、市民の代表を入れると言っても全体として中立性、公平性を保って議論すべきだというのが基本方針ですので、その方が中立かつ公平かということは現実問題としてはなかなか難しいところがあるのではないかと。そういう意味で専門性の高い、プロフェッショナルな方に入っていて、そういった方に中立の立場から審議していただくことが現実的には一番適切なのかなと。

一方で、市民を入れるということに対しては、そのためにP Iをやっているということだと思いますので、この考え方も文章ではその辺のところまで読めるかどうか私自身も疑問に思ったところもありますので、この場で確認ということで、そんな考え方でよろしいのかどうか、事務局のお考えをもう少し補足いただければと思います。

事務局

P I有識者委員会の庶務を担当しております。先ほど言われました通りでございまして、我々も同じような経過をたどった考え方をいたしました。実際にこういうふうに前もって、今回のアンケートの以前から有識者委員会に市民等の代表を入れてほしいという意見がございましたけれども、やはりP IにつきましてはP Iそのものがいるんな方のご意見を吸い上げる、P Iそのものがそういう行為でございますので、第三者機関というのはむしろそれとは別に、まさしく第三者機関でございまして、そういった意味で利害を代表しない組織として設置するというものでございます。そういう考え方に立ちまして設置しております。

人選についてもそうやって行ってございまして、資料2の29ページに有識者委員会の規約を添付しておりますけれども、この委員の構成につきましては中ほどの第3条ということで「委員会は、所掌事務の遂行に必要な専門的知識及び福岡空港が抱える課題の対応策について中立的かつ客観的な考え方を有する有識者で構成」するという考え方を示し、また第4条で「委員は、特定の行政機関及び特定の利害関係者の利益を代表してはならない」という規定を設けまして第三者性を確保するようにいたしているところでございます。

村山企画官

どうもありがとうございました。

戸田部長

その他、ございませんでしょうか。

別添2というのは、いただいた意見とその考え方を事務局でとりまとめられていますが、この資料は今日公表したみたいなものではないのでしょうか、ホームページに載せるとかそういうことを考えているわけではないのでしょうか。

西村理事

これも載せます。そして意見をいただいた方に対してもこれを送ります。

戸田部長

タイミングはいつですか。P I 有識者委員会を開いた後くらいですか。

事務局

できるだけ速やかに。

戸田部長

意見をいただいているのだから、いつでも良いと言えばいつでも良いのですよね。事実としてこういう意見があって、それに対してこういう対応をしたという。

本来、意見を募集していない所に意見が、具体的な計画の内容に9ページ以降の調査全般に対する意見がいっぱいありますけれども、これは9ページの右側に書いてあるところで総論的に答えて、具体的には今後の話だということで今回は処理しているということですね。

西村理事

そうですね。

戸田部長

これをいちいち書きだすこと自体無理なので。

西村理事

もともと本来の、ご意見を伺うものではなかったのですけれども。

戸田部長

そうなりますよね。興味はこちらにあるという気がするのです。

西村理事

今後いろいろ考えておりますという、現状での考え方としてはどういう回答になるのかということ整理したものです。

松本部長

そうするとこの別添2で言えば、9ページ以降に提示された意見、考え方としては今後の検討の中で参考にさせていただきたいとなっているけれども、具体的な作業としてステップ2とかステップ3の作業の時に、これから引っ張り出してもう1回見てみるということをやらないといけないのかな。

西村理事

個別の意見に一つ一つ対応することになるのかどうか分かりませんが、案を作る作業のときに参考にするか、あるいは物理的・技術的な観点から案が出しておいて、それについてステップ3なり4なりで、またご意見をお伺いするときにそれも含めて賛成ですよ反対ですよという意見として扱うということなのかと思っておりますが。

少なくとも今回は、実施計画の第1回目にどういう手法でどういう情報提供して、どういう意見の取り方をするかというのがメインですから、今回についてはこういうご意見をいただきましたということで出しています。

戸田部長

ほかにご意見はございますでしょうか。

松本部長

手続きについての確認ですけれども、西村さんからの冒頭の説明の中で、実施計画の修正案が今日示されました。それで連絡調整会議を経て第三者機関へ持ち込むものが確定するというお話だったのですが、今日の幹事会でもって連絡調整会議に代えるということですね。

西村理事

はい。前回、11月にやったときには、次回のご意見の案を修正したものについて幹事会を開いて成案にするというふうに本会議で説明していますので、そこはご了解いただいたと思っております。

戸田部長

ほかにございませんか。もし無ければ、以上をもって議論を終わりたいと思います。今日ご提案いただきました実施計画、ステップ1の修正案、資料2にある部分につきましては今日のご提案どおり、今ほどありました連絡調整会議として幹事会が連絡調整会議の権限を一部委譲したというか、権限を代行するというか、この幹事会で決めるということをご了解いただいておりますので、連絡調整会議として成案としたいと思っております。

特段に意見がございましたらお伺いしますが、成案をここで決定することによるしゅうございますか。

一同「結構です。」

戸田部長

それではこの案をもって成案としまして、PI計画に定めた手順に従いまして、福岡空港調査PI有識者委員会に送付し、評価を受けるということに入っていきたいと思っております。引き続き事務局で処理をしていただくようお願いいたします。

その後、PI有識者委員会で議論を受けた結果、一部修正等がございましたら、再度協議するということになりますので、今日お集まりの皆様方にはまたその際にもよろしくお願ひしたいと思います。

以上で審議は終了させていただきますが、そのほかに何かございましたら、事務局でお話になってください。

### (3) その他

#### 事務局

九州地方整備局の事務局ですけれども、福岡空港の総合的な調査の分担表というのを連絡調整会議で取り決めたものがございまして、その修正についてご提案させていただきたいと思えます。

PI実施計画の20ページ、資料2の20ページにある表のことですけれども、連絡調整会議で合意して調査項目と分担に従って調査を進めるとなっているのですけれども、前回11月の連絡調整会議の時に、メンバーの方からこの中の「近隣空港との連携方策の検討」という項目の国側の調査項目で「近隣空港の連携に向けた基本的枠組みの検討」という言葉があって、この言葉がわかりにくいのではないかというご指摘がありました。

この部分については、近隣空港との連携方策を検討するにあたっての前提条件みたいな基本的な部分、考え方を整理する内容と想定しておりましたので、「基本的枠組みの検討」というのがわかりにくいというご指摘だったので、この部分を「基本的な考え方の整理」と「検討」というよりは前段の整理ということを強調して、「近隣空港との連携に向けた基本的な考え方の整理」という言葉に替えさせていただきたいと考えております。本質的に調査の方向性が変わるというわけではないのですけれども、表の形式上、そういうふうに修正させていただきたいと考えておりますけれども、いかがでしょうか。

#### 戸田部長

今ご提案がありました件について、確かに連絡調整会議の場でそういうご意見があって、その通りだということで、具体的にご提案のあった文面に修正したいということですが、よろしゅうございますでしょうか。ご意見があればお伺いしますが。

#### 村山企画官

そうすると手続として、この資料2を次の有識者委員会に今の部分を修正してご審議いただくと。これ以降のこの手の表も修正するということですね。

#### 戸田部長

そうですね。それでは、そういうことで一部修正をしたいと思えます。よろしく申し上げます。以上でよろしいですか。

#### 事務局

有識者委員会の事務局といたしまして報告させていただきたいと思えます。第1回福岡空港調査PI有識者委員会が昨年12月に開かれております。その概要を確認の意味も含めまして、少しご報告させていただきたいと思えます。

有識者委員会につきましては、お手元に配布しております福岡空港調査連絡調整会議二

ユースというものがございまして、その第2号に有識者委員会の設置について、それから裏面に第1回の委員会の様子といったものも含めて載せてございます。参考までにこれを眺めながら聞いていただきたいと思えます。

第1回につきましては、昨年12月9日に開きまして、議事といたしましては規約の制定でありますとか、委員長の選任、当連絡調整会議からの報告ですとか、委員会の進め方についての審議といったものを行いました。

まず委員長の選任につきましては、委員からの推薦で筑波大学教授の石田委員が選任されました。石田委員長の挨拶の中で、各委員にお願いするという形で、「今回のP Iが大規模な空港では初めての事例でありまして、また方向性を探る段階からのP I実施ということで本当に新しいチャレンジである。それだけに難しいことが多々あると思われるけれども、良いものを作るという気概で取り組んでいきたい。また、有識者委員会としては行政とは一線を画して独自性・第三者性・中立性を発揮しつつ、十分な議論を尽くしてわかりやすい結論を出していきたい」ということを述べられました。

併せて、我々事務局に対しましても、委員会の役割がきちり果たせるようにしっかりとサポートを行なうように要請がございました。

また報告事項としまして連絡調整会議から、第1回の委員会ということでもありましたので、福岡空港の概況、福岡空港の総合的な調査概要およびP I計画について説明するとともに、今回成案となりましたP I実施計画(ステップ1)の素案についても報告を行いました。

委員からは、本調査の進捗状況についての質問がございまして、P Iと整合を取りながら調査を実施してほしいという要望がございました。

それから審議事項となっております委員会の進め方につきましては、事務局から審議の進め方としましてP Iの4つのステップ毎に実施計画の評価、実施段階の監視、実施結果の評価の3段階で審議を行うことをお示ししまして、了承いただいております。

また、委員会の資料及び議事録は原則として公開することや、会議の傍聴を次回の委員会から認めることとしまして、これらについての実施要領を次回委員会までに取りまとめ、策定経緯を含めて公開することが決定しております。

このことにつきましては、現在、事務局で情報公開及び傍聴に関わる要領の案を作成して、石田委員長はじめ各委員との調整を進めているところでございます。

また、有識者委員会の審議の過程で委員の意見が分かれるような場合はどうするのかということがございまして、委員長から「そういう場合には多数決ということではなくて、とことん議論して良い知恵を出していくことが必要ではないか。福岡空港の重要性から考えて、P Iの効率的な運営も必要であって、時間管理の面でも積極的に助言していくことが有識者委員会の任務である」ということが確認されております。

このほかにもP Iの実施状況の委員の視察については、飛び込みで自由に行きたいとか、P Iに対する理解を深めるために広域の大規模施設にかかわる国内外の先進的なP I事例の資料や、これまでの福岡空港の調査検討についての情報提供の経緯などを取りまとめた資料の提供についての要望がございました。

これらの資料につきましては現在作業中でございまして、次回委員会の開催前に各委員に提供しまして事前に見ていただいて、議論を深めていただくように考えているところで

ございます。以上でございます。

戸田部長

ありがとうございました。ご質問等がございますればお受けいたしますが。

(発言なし)

戸田部長

それでは以上をもちまして本日の会議は終了させていただきますが、今日議題になりましたP Iの実施については 17 年度からスタートするということとありますし、P IはP Iでの検討を引き続き進めていくということとともに、P Iに付す調査の結果と言いますか、検討も並行してやっておりますが、中身がないとP Iだけやりましたもしょうがないですから、中身の方も我々で一生懸命に取りまとめていきたいと思っておりますので、今日ご参加の方々のご協力をよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。

### 3 閉会

事務局

どうもありがとうございました。これもちまして第3回幹事会を終了させていただきますと思います。